

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ五郎丸		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26 日		～ 2026年 1月 27 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達向上(成果)につながる活動、支援	・スタッフ間の情報、知識、認識の共有 ・スタッフ間のミーティングと試行錯誤、トライアンドエラーのサイクルの速さ。	左記の頻度と精度を向上していく。
2	保護者支援	・先方からではなく予防的にこちらから連絡、確認。 ・スタッフ間の情報共有と相談、相手への理解と納得が得られるよう手を尽くす。	左記の頻度と精度を向上していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	・送迎箇所が多く外出機会を作ることが困難 ・スタッフ数、または車種不足。	・スタッフ数と社用車の充足、利用しやすい児童館や公園を探す。 ・利用者数の制限。
2	周知活動(実施していることが伝わっていない)	・現在の周知方法、頻度では不十分。 ・午前中の利用者が多く、また研修や会議が午前中にあるため時間が不足している。	・会報の頻度と内容、公開方法をHUG上にするなど周知方法を変えて対応する。 ・児童発達支援と放課後等デイサービスを完全に分けることを検討する。
3	各種イベントの少なさ	・土曜日に異年齢、発達段階に大きな差がある利用者が多く外出先が限られる。 ・土曜日に強く支援が必要な利用者さんの利用が集中してしまっている。	・児童発達支援と放課後等デイサービスを完全に分ける。 ・利用調整を行い他曜日に分散、もしくは他事業所との併用をすすめる。